

【DS-11 大都市沿岸域の複合地盤災害への取組み】
(発表：4編)

一般発表では、国際地盤工学会 TC303 の活動と展望、遠心力場での模型実験による津波による洗掘及び地盤の液状化被害に及ぼす余震の影響についての研究成果が発表された。いずれの研究も、新たな課題への取組みとして極めて独創的な内容であった。総合討論においては、東日本大震災で問題提議された「想定外」という側面にどのように取り組むべきか、数千年に1度という時間スケールに対してどのように知見を伝承すべきか、など、ディスカッションセッションに相応しい充実した内容の討論が展開された。 (文責：京都大学 井合 進)